

受賞者（15人）の工夫と感想～

～審査員からのメッセージ～

横浜 F・マリノス賞
丸山台小学校 6年 草間 瑛
『庭産家消（にわさんいえしょう）
栄養満点モリモリ弁当』

病気になってしまったおばあちゃんは、お弁当を食べて「幸せになった」と言ってくれて、苦労したことがむくわれたと思いました。野菜料理をがんばって作ってよかったです。世界中の人を元気で笑顔に幸せにしたいと思いました。



自分の家の庭で作られた野菜を使って、色とりどりに作っていました。運動する人にとっては、栄養満点もりもり弁当はパワーが出そうです。お弁当を作ることでピーマンを食べられるようになって良かったですね。（望月 選）

崎陽軒賞
中田中学校 3年 三代川 奈々華
『横浜市ウマイ弁当』

お弁当の名前は特にこだわりました。テーマが「花博で食べたいお弁当」だったので、カラフルにデコレーションしました。テーマにそって作るのは難しかったけれど楽しかったです。リモート越しでも、たくさんの方の参加者と審査員に緊張しました。



崎陽軒のシウマイ弁当をリスペクトして作られたお弁当は、花博のことも考えたキャベツの花シウマイ。8つの俵ごはんはもちもちする炊飯の工夫があり、地産食材・ナポリタン、まさに横浜市ウマイの完成！でした。（君塚 義郎）

池商賞
善部小学校 6年 中村 愛花
『幸せをとどけるお弁当』

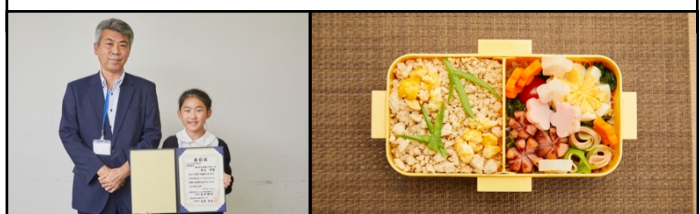
私は花が大好きなので、花形おにぎりやカラーピーマンで彩りのよいお弁当にしました。料理が苦手だったので、事前の準備や食材の下ごしらえが大変でしたが、母や祖母に聴いて、美味しいお弁当を作ることができうれしかったです。



テーマに則した素晴らしいお弁当でした。地場産物を5品目使い、カラーピーマンや桜色に染めたうずら卵等、工夫が感じられました。花畑で筐のお弁当箱を開けたら、幸せな気分になるでしょう。（松原文博）

よこはま学校食育財団 理事長賞
箕輪小学校 5年 井上 仔智
『葉菜彩（はなさい）弁当』

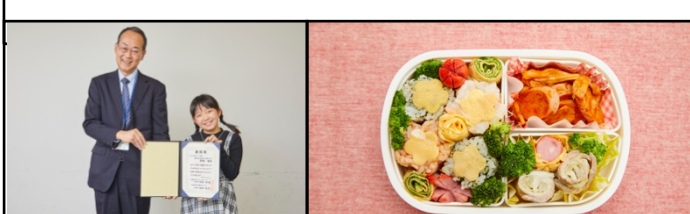
卵のチューリップ、キャベツのバラ、にんじんと大根の桜、ウィンナーの百合、お弁当は何度もチャレンジして、うまく作れるようにがんばりました。地場産物には野菜がたくさんあったので、色合いよく、ヘルシーにできました。



テーマに沿って、たくさんのお花を散りばめた素晴らしいお弁当でした。特にそばろで「土」をイメージしていたところは細々とした点にも気を配られているなど感心させられました。（永井 隆）

よこはまユース賞
末吉小学校 5年 原田 愛彩
『彩りお花弁当』

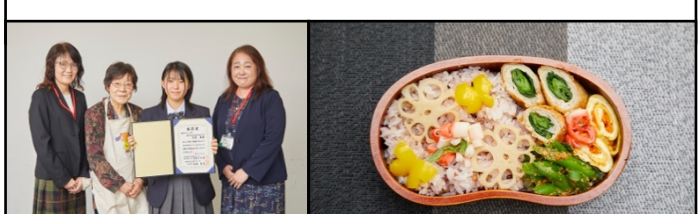
見て楽しい野菜をたくさん食べられるカワイイお弁当にしました。工夫点は、一番作るのに苦労したお花型おにぎりです。むずかしい所や失敗することもあったけれど、楽しく作れました。



ひと目見て「わっ、お花畑だ」と思いました。彩り鮮やかな花博にぴったりですね。栄養バランスにも気を配っており、栄養満点のお弁当です。（巻口 徹）

横浜すぱいす賞
早瀬中学校 2年 竹中 美羽
『蝶と花博』

自分は普段あまり料理をしないので、こういった場を得てお弁当作りをする機会があって良かったです。自分で作れる範囲のものとなっているので、たくさんの工夫ができました。



タイトルが「蝶と花博」というのにふさわしい華やかさでした。れんこんとパプリカの花型の飾り切りは手先の器用さが見られ、食べるのがもったいない位でした。蓋をあげたら「わあ」と声もれるような素敵なお弁当でした。（図師雅子・池田ふみ子・大原敦子）